

(様式1)

県立高等学校重点校制度に係る事業計画書

学校名 鳥取工業高等学校

重点項目	地域連携	提出日	令和4年12月22日
------	------	-----	------------

1 学校目標
『地域を支える人財（材）、技術者の育成』 技術を研ぎ、身体を鍛え、心を磨くことをとおして、優れた知性や創造性を身に付けたたくましい力と、感動したり他者を思いやるあたたかな心を兼ね備えた、健全で個性豊かな人材の育成をめざす。
2 重点項目に係る目標
(1) 学力の向上 ア 授業改革と学力の向上 イ 主体的な学習態度と実践力の向上 (2) 豊かな人間性の育成 ア 互いを尊重する態度と社会性の涵養 イ 健全な心身と社会貢献精神の育成 (3) キャリア教育の充実と進路実現 ア 専門的な知識・技術の習得 イ 勤労観・職業観の育成と進路指導の徹底 ウ 地域や産業界との連携強化 <数値目標> (1) 中学校等で行う出前授業に参加した小学科の実施回数が、延べ20回 (現状：令和3年度実績7回（コロナ禍により中止が相次いだ）) (2) 地域の高齢者宅等を訪問するテクノボランティアへの参加生徒数が、20名以上 (現状：令和3年度実績13名)
3 事業計画（事業名、事業概要）
【独自事業】 (1) 豊かな心育成事業 ・テクノボランティア 近隣の高齢者住宅や社会福祉施設等を訪問して、電気製品等の簡易な修理や清掃等を行うことで、自己肯定感を高め、地域社会の一員としての自覚を深める。

(様式1)

(2) 地域連携推進事業

・機械で課題解決

地域・学校内外にある課題や困りごと・依頼案件について、ものづくりによって課題解決・改善を行うとともに、地域貢献と機械科の魅力発信につなげる。

・鳥工テック

鳥工祭(文化祭)期間中に実習棟をメイン会場として、各科の日頃の学習成果を地域の小・中学生や一般の方々へ発表する。地域の方々に本校及び工業についての興味・関心と理解を深めていただくとともに、生徒の企画・実践・表現力を育む。

・中学生体験入学

中学生が本校の工業各科の学びや部活動を体験して、ものづくりや実験実習の楽しさ等を体感することで、本校への関心を深め、進路決定の一助とする。

・出前授業「工業っていいかも」

工業各科の教員が中学校に出向き、技術・家庭科及び理科等の関連分野の授業を行って学習支援をする。可能であれば、本校生徒も講師として参加することを想定している。このことで、中学生のものづくりへの興味・関心を高めるとともに、地域を支える次代の人材・技術者の確保につなげる。

・地域開放講座

校内または対象とする小学校あるいは近隣施設において、生徒が講師となって講座を開講する。講座の内容は各科の特色を活かしたものづくり全般及びドローンプログラミング教室を想定している。

・地域企業連携(テクノヒルズ加盟)

鳥取県東部における技術力の高いテクノ集団である『鳥取テクノヒルズ』に加盟し、会員間での産官学連携による研修会や意見交換から、産業界の実態や今後の技術革新の方向性あるいは鳥取を支える工業分野の将来構想を知り、本校の新しい工業教育の在り方を探る。また、地域を支える人財育成を地域と共に行う。

【その他】

・学校連携チャレンジ・サポート事業(高等学校課事業)

鳥取湖陵高校、鳥取商業高校、智頭農林高校と連携し、「専門高校フェスタ」として専門高校の教育内容を発信する。各校の生徒が地域住民や小中学生に各校の専門性を直接アピールすることにより、専門教育の魅力と将来の地域産業を担う意欲を育成する機会とする。

※枚数任意